

令和 6 年度 第 2 回 認知症介護実践研修

認知症介護実践者研修（広島市：第 1 回目）

開 催 要 綱

1 研修目的

認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できる実践的な認知症介護の知識と技術を身につけ、その具体的な実践を展開できる、介護現場における中核的な役割を担う認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とします。

2 研修実施主催

公益社団法人 広島市老人福祉施設連盟

3 研修日程

令和 6 年 7 月 3 日（水）・7 月 4 日（木）、7 月 24 日（水）、7 月 25 日（木）、
9 月 3 日（火）午後 及び職場実習 4 週間

※中間指導日 令和 6 年 8 月 13 日（火）

当日は指導者から連絡が入る可能性がありますので、必ず本人と直接連絡が取れる状態にしておくこと。

なお、職場への出勤は、必要要件ではありません。

4 研修会場

南区地域福祉センター 4 階 大会議室

広島市南区皆実町一丁目 4-46 南区役所別館

※注：南区福祉センターの駐車場利用はできないため、公共共通機関又は近隣の有料駐車場を利用すること

5 研修対象者

次の要件を全て満たす者とします。

- ① 市内の介護保険施設・事業所に従事する介護職員等
- ② 認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有する者
- ③ 身体的介護に関する基本的知識・技術を習得している者であって、介護保険施設・事業所等において介護実務におおむね 2 年以上従事した経験を有している者
- ④ 研修を継続して全日程を受講することができ、自施設にて日常業務を行いながら設定した課題に 4 週間取り組み、研修修了後に学んだことを実践できる者
- ⑤ 提出物ならびに指導者のコメント等、研修に関する連絡事項がメールにて送受信できること（※注：私用の個人アドレスについては使用不可）

6 修了証書が発行されない事由について

別添の『注意事項 7』の通り

7 受講料

- ① 受講料 29,000 円（教材費含む。）
- ② 昼食代 1 食 600 円／お茶付・税込（1～4 日目の注文者のみ）

8 目的及び講義日程

日時	テーマ	講師氏名	目的
1 日 目	受付(9:00～)		マスク着用・アルコール消毒励行 受講料等支払い
	9:30 開会挨拶 オリエンテーション	公社) 広島市老人福祉施設連盟 研修部会	
	9:40 1 認知症ケアの基本 認知症ケアの理念・ 倫理と意思決定支援 12:40	コーディネーター 岩本 陽子	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。
	昼休憩 (50 分)		
	13:30 1 認知症ケアの基本 支援のためのケアの 17:30 演習 1 (1)	コーディネーター 時光 佳太	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとして生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
	～18:00 事務連絡等		
2 日 目	受付(9:00～)		
	9:20 1 認知症ケアの基本 支援のためのケアの 10:20 演習 1 (2)	コーディネーター 時光 佳太	1 日目第 2 講義 (続)
	10:30 1 認知症ケアの基本 QOL を高める活動と 11:30 評価の観点	コーディネーター 梶原 宣志	認知症人の心理的安定や QOL (生活・人生の質) 向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と支援方法について理解を深める。
	昼休憩 (50 分)		
	12:20 1 認知症ケアの基本 認知症の人の家族への 13:50 支援方法	コーディネーター 吉田 祐樹	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	14:00 1 認知症ケアの基本 権利擁護の視点に 15:30 基づく支援	コーディネーター 大城 真也	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	15:40 1 認知症ケアの基本 地域資源の理解と 17:40 ケアへの活用	コーディネーター 室谷 美佐	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。
	～18:00 事務連絡等		
職場実習			職場に戻り、学びを実践で活かし、自身の認知症ケアを振り返る機会をつくる。 (⇒共通ワークシート B 欄及び 2 事例を作成し、提出)

日時		テーマ	講師氏名	目的
3 日 目		受付(9:00～)		
	9:20	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 学習成果の実践展開と共有	コーディネーター 中村 静香	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。
	10:20			
	10:30	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 生活支援のための	コーディネーター 河合 大輔	認知症の行動・心理症（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解したうえで生活の質が高められるようチームで支援できる。
	～	ケアの演習 2 (1) (行動・心理症状)		
		昼休憩 (50 分)		
	～	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 生活支援のための	コーディネーター 河合 大輔	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
	15:20	ケアの演習 2 (2) (行動・心理症状)		
	15:30	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 アセスメントとケアの実践	コーディネーター 岩本 陽子	
4 日 目	17:30	の基本 (1)		
	～18:00	事務連絡等		
		受付(9:00～)		
	9:20	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 アセスメントとケアの実践	コーディネーター 岩本 陽子	(3 日目の続き)
	12:20	の基本 (2)		
		昼休憩 (内 60 分)		
	13:20	3 実習 職場実習の課題設定	コーディネーター 福光 直美	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にしたうえで、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
	17:20			
4 週 間	～18:00	事務連絡等		
		3 実習 職場実習 (アセスメントとケアの実践)	受講者の各々職場にて ※チームでのアプローチを行う (個人での実習実施は欠格事由となります)	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。

日時		テーマ	講師氏名	目的
5 日 目		受付(13:00～)		
	13:30 ～ 16:30	3 実習 職場実習評価 まとめ	コーディネーター 廣木 佑介	アセスメントやケアの実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。
	17:00	閉会挨拶	広島市老人福祉施設連盟	

9 研修コーディネーター（認知症介護指導者養成研修修了者）

社会福祉法人あと会 特別養護老人ホームくにくさ苑	相談支援員	室谷 美佐
社会福祉法人福祉広医会 悠悠タウン江波看護小規模多機能型居宅介護事業所	介護職員	岩本 陽子
社会福祉法人可部大文字 特別養護老人ホーム山まゆ	施設長	梶原 宣志
メディカル・ケア・サービス関西株式会社 愛の家グループホーム広島矢野西	副ホーム長	浦元 こずえ
社会福祉法人福祉広医会 特別養護老人ホーム悠悠タウン江波	副主任	福光 直美
医療法人和同会 西広島グループホーム	ホーム長	中宮 りえ
社会福祉法人慈光会 デイサービスセンター東原慈光園	部長	大城 真也
社会福祉法人正仁会 看護小規模多機能ホームなごみの郷	管理者	廣木 佑介
社会福祉法人慈光会 養護老人ホーム上安慈光園	部長	吉田 祐樹
社会福祉法人広島博愛会 特別養護老人ホーム五日市あかり園	機能訓練指導員	時光 桂太
医療法人社団敬愛会安佐病院 老人保健施設希望の園	介護主任	池野 啓介
社会福祉法人和楽会 特別養護老ホーム和楽荘	介護主任	河合 大輔
株式会社松広 グループホーム舟入	管理者	渡世 珠紀
社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷	施設内介護支援専門	中村 静香

10 研修参加にあたっての注意事項（④、⑤は研修修了の判断に関わるため注意）

- ① テキスト一式は当日配付します。（追加資料がある場合、随時配付します）
- ② 研修参加費は、研修初日に現金にて集金します。
- ③ 感染症防止のため、研修中はマスク着用にて参加をお願いします。
- ④ 遅刻及び無断欠席は講義に支障をきたしますので、修了証書を発行しない場合があります。（やむを得ない場合（緊急事態）を除く）
- ⑤ ④の状況となった場合、受講料の返金及び振替受講・再受講の対応は行いません。（あらためて、研修の申込及び研修初日からの受講が必要となります）
- ⑥ 提出物等については、指示された提出期限を必ず守ってください。
- ⑦ 研修テキストの著作については、認知症介護研修センター、広島市認知症介護指導者及び老施連に帰属しますので、研修外では使用しないでください。なお、ホームページ等で公開されているデータ等については除きます。

11 個人情報の取扱い

必要書類にある研修受講者等に関する個人情報は、広島市及び研修実施主体である公益社団法人広島市老人福祉施設連盟が厳重に保管し、認知症介護実践研修実施に関するもののみに使用し、それ以外の目的のために使用することはありません。

12 問合せ/連絡先

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 事務局（担当：高橋）

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内

TEL：(082) 207-0567 FAX：(082) 207-0576

Email：renmeikenshu@roushiren-hiroshima.jp（研修専用）

※研修当日（緊急連絡先）：090-3375-4546